

八幡神社本殿

ハチマンジンジャホンデン



指定日：昭和54年(1979)3月20日 種別：建造物

大市八幡神社の本殿で、三間社流造、檜皮葺の神社建築。棟板の写しから、慶長15年(1610)の建立であるとされる。その後、何度か修理が行われたようで、板壁や浜縁などに修理の跡がみられるものの、その他はよく保存されている。比較的簡素な意匠であるが、細部の手法はいずれも時代の特色(身舎、向拝とも出三ツ斗など)を表しており、17世紀初頭の神社建築として貴重である。昭和55年(1980)3月25日、兵庫県指定文化財となる。